

平成27年度予算見積調書

課室名：温暖化対策課

担当名：エコエネルギー推進担当

内線：3068

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B15	防災対応型EV・PHVバス導入促進事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	次世代自動車普及促進事業費		
事業期間	平成27年度～平成31年度	根拠法令	埼玉県地球温暖化対策推進条例			戦略項目	09	新エネルギー埼玉モデルの構築		
					分野施策	040202	低炭素な暮らしとまちづくりの推進			
1 事業の概要 自動車から排出されるCO2を削減するためには、特に電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド自動車（PHV）の普及が必要である。 そこで、EV・PHV化がなされていない路線バス等への導入を促進し、低炭素社会の実現を図る。 (1) EV・PHVバス導入促進事業 20,168千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア EV・PHVバス導入促進事業 EV・PHVバス及び充電設備等導入補助 20,168千円 (2) 事業計画 ア EV・PHVバス導入状況 0台(H26) 10台(H31) (3) 事業効果 ・事業系におけるCO2排出量の削減 約16t-co2/年(1台あたり) ・災害時における地域への防災給電として活用 ・コミュニティバスや路線バスを運行している市町村や民間事業者への波及促進 ・国指定の「EV・PHVタウン」として、先導的な取組						
2 事業主体及び負担区分 国1/2(県1/8)市町村1/8事業者1/4				(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 市町村や民間事業者と連携し、低炭素なまちづくり化 (5) その他 地域交通のグリーン化事業(国土交通省) ・電気自動車の導入補助：車両本体価格の1/2 ・充電施設の導入補助：導入費用の1/2						
3 地方財政措置の状況 環境負荷低減のための取組の推進に要する経費										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円										
予算額		財源内訳							一般財源	前年との対比
決定額	20,168							20,168	20,168	
前年額										